



レッツトライ!



5月号

令和2年5月11日(月)

学校再開までもう少しかんばろう!

新4年生の子ども達と出会った始業式の日はまだ肌寒かったのですが、この頃は初夏の陽気となりほかほかとしています。校庭には小さな鳥が遊びに来ていてさえずりも聞こえます。学校に子ども達の元気な声が一日も早く戻るといいなあ、みんなに会いたいなあと思っています。

4月末にみなさんにお電話を差し上げたとき、それぞれのご家庭で工夫して頑張っていて過ごされていることにお聞きしました。少しでも励ますことができればと思っていましたが、皆さんの頑張りに逆に励まされた思いがしました。学力や体力のことを心配されているご家庭もあるかとは思いますが、学校再開の折には、我々担任が全力でサポート致します。何か不安なことや心配なことがあれば、いつでもご相談ください。

私達の感染しないための努力が、自分の家族や周りの人の健康を支えています。休校中も規則正しい生活を心がけ、体調管理には十分ご配慮下さい。こんな時だからこそ、お互いに相手を思いやって生活していきましょう。

休校中の宿題について

休校期間の延長に伴い、**宿題**をお知らせします。学校再開にあたってスムーズに学習を進めていくためにも、宿題は確実に行うようお願いいたします。(まもなく配送される物もあります)

① 国語 ○漢字ドリルP13~P22までドリルに書く。新出漢字の「覚」~「材」の17文字については、(例)のように漢字ノートに書く。(終わった人は、覚えるまで追加練習をする。)

○国語の教科書P60~P61、P98~P99の①から④までをノートに書く。

○習字・・・「林」という字を書く。左横に名前を書く。

② 算数 教科書P14・P15を読んで、角の大きさのはかり方を覚える。

③ 社会 47都道府県の場合と名前を覚えるように練習する。

④ 理科 **動物観察カード**にP22のツバメなどの4種類の中から一つ選んで、上に絵をかき、下に思ったことを書く。

(自宅に生き物を飼っている場合は、その生き物についてかいてもいいです。)

※登校日に持って来る物：袋に入った提出物、国語、算数、分度器、わりばし、そうきん宿題(なるべく登校日までに終わらせて持って来る)

覚	説	伝	覚	カク・おぼえる		
覚	説	小	伝	思	覚	名
覚	説	説	伝	い	覚	前
伝	説	を	伝	を	覚	を
伝	説	読	伝	伝	覚	覚
伝	説	む	伝	え	覚	覚
説	説	と	伝	相	覚	秋
説	説	く	伝	手	覚	の
説	説	。	伝	に	覚	味
説	説		伝	伝	覚	覚
説	説		伝	達	覚	覚

17
ステップ1
おぼえる

新しい漢字
なぞる → なぞる → ていねいに書く

書き手は教科書で使われている意味
40~45
5 3 1
4 2

<p>説 セツ</p> <p>1 話 2 題 3 小 4 説 5 説 6 説 7 説 8 説 9 説 10 説 11 説 12 説 13 説 14 説</p> <p>14画</p>	<p>伝 デン</p> <p>1 伝 2 伝 3 伝 4 伝 5 伝 6 伝</p> <p>6画</p>	<p>覚 カク</p> <p>1 覚 2 覚 3 覚 4 覚 5 覚 6 覚 7 覚 8 覚 9 覚 10 覚 11 覚 12 覚</p> <p>12画</p>
<p>話題の小説を読む。使い方を説く。</p>	<p>思いを伝える。相手に伝達する。</p>	<p>名前を覚える。秋の味覚。目覚まし時計</p>

短文を写す。ひらがな2文字の場合は1マスに入れる。全て写せない場合は、さらに短くして2文は書く。

上の4マスを使って大きく習う漢字を書く。読み仮名は、音読み訓読みを一つずつ書く。下の右側は短文。左側は漢字を一字ずつ書く。最後の行が一行余るので、4文字ずつ書く。

漢字辞典の購入申し込みについて

国語科の学習で「漢字辞典の使い方」を学習します。そこで、漢字辞典の購入申し込みの封筒を次の登校日に子どもたちに配布致します。学校には児童分の辞典がありますので、ご家庭で必ず準備されなくても構いません。購入される方は封筒の申込欄に記入をし、お金を入れて担任に提出していただきますよう、お願い致します。

4年生の子ども達へ

元気になっていますか？学校に来られる日まで、もう少しのしんぼうです。ピンチをチャンスに変えるべく、学習も運動も自分で考えて、明るくすすめていってくださいね。いつもはできないことにチャレンジするのもいいですね。そしてたくさんお手伝いをして、家族のピンチを助けてあげてくださいね。先生たちは、みんなのえがおが教室にあふれる日をまちつづけています。みんなといっしょにがんばったり、よろこんだりして、みんなのせいちょうを見たいです。学校で会える日まで、家での生活をがんばっていきましょう！

村上先生と山下先生より